

第三十回京都府民総合スポーツ大会種目別交流大会

卓球バレー競技大会を終えて

京都卓球バレー協会会長

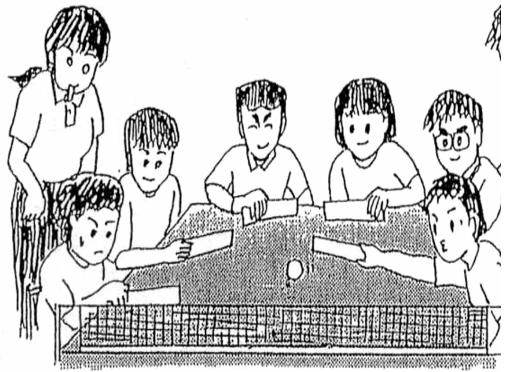
片山美代子

去る十一月十八日(日)京都市障害者教養文化・体育会館にて、標記(府民総体と記す)大会が行われました。30回を機に、府民総体の形式が変わって、競技スポーツ部門と交流スポーツ部門、そして府民個人参加部門に分け、卓球バレーは交流スポーツ部門の種目別交流大会として位置づけられました。昨年、京都障害者スポーツ振興会へ京都府教育委員会より、障害者スポーツを府民総体に取り入れたいが、どんな種目が良いだろうか」と相談を受け、即座に内山会長が「卓球バレーが良い」と答えられました。最初は、振興会に府民総体の本部から委託され、本年四月に設立した京都卓球バレー協会に更に委託された事業です。府民総体とは、京都府全域を26地域の市町村に分け、競技スポーツ部門では、市町

村対抗で競技を行います。交流部門での卓球バレーについては、京都市を11行政区とし、他の25市町村を加え最大36チームで交流を目指して行うことになり、各市町村の教育委員会と体育協会に申し込むことになっていました。交流を目的に、チームの構成を障害のある人4名、ない人2名とし、1チーム10名まで申し込むようにしました。九月二十一日(日)で受け付けした時には、京都市6行政区、府内6市町村と少なく、一切日を十月十日に伸ばし、申し込まれていない市町村の体育協会に連絡して、再度参加されるようお願いしました。障害者スポーツが京都府民に受け入れられるということに初めての実績があり、多数の参加チームがあることが、成功への第一歩と考えられます。10日には20市町村より申し込みがあり、36チ

ムに満たない場合、一市町村で2、3チームの申し込みができるように受け付けましたので、結局27チームの参加となりました。午前中に1ブロック3チーム、9ブロックで予選リーグを行い、午後は、予選リーグ1位チームの9チームで決勝トーナメントを行いました。当日は、幸いお天気に恵まれ、北は与謝野町南は宇治市まで、早朝より参加していただきました。開会式では、京都府体育協会・教育委員会から来賓として来られ、声援していただきました。振興会からは、会長・顧問・副会長が開会式に出席していただき、盛大に行われました。3セットマッチで昼食時間もあり、ゆったりとした感じで行うことができました。今回の競技会で感じたことは、障害者スポーツの中で卓球バレーは、六月の全京都大会にもあるように、100を超え、チームが集まり、相当な広がり方をしていると思われませんが、障害のない方には、ほとんど実際に行ったことがないと思われること。府民総体に参加する前に、市町村の体育協会から障害のある人々に、競技会のあることが中々伝わらないこと。障害のある人もない人もともに楽しめるスポーツとして行っています。が、チーム編成上、それも市町村によつては難しい面があること。会場については、休憩したり弁当を食べる時の場所が少

ないこと。現在規模の増加しないこと。場合によりますが、チームが増加した場合無理かも考えられませんが、しかし、他にない良い点も多く、バリアフリー、使用料、障害のある人々への対応等不可欠の条件があります。結果、第1位には京都障害者スポーツ振興会より寄贈していただいたカップと府民総体の賞状を授与、第2・3位チームには同じく府民総体の賞状が授与されました。全体的にみて、歴史ある30回を迎えた府民総合体育大会が、初めて障害者スポーツを取り入れられたこと、紆余曲折はあったものの、京都卓球バレー協会にとつて貴重な体験が得られたこと、障害のある人々が、みなで本大会を成功させようと盛り上げてくださったこと、各諸団体にご協力いただいたこと、更にボランティアの皆様が朝早くからご協力した。ありがとうございます。



ないこと。現在規模の増加しないこと。場合によりますが、チームが増加した場合無理かも考えられませんが、しかし、他にない良い点も多く、バリアフリー、使用料、障害のある人々への対応等不可欠の条件があります。結果、第1位には京都障害者スポーツ振興会より寄贈していただいたカップと府民総体の賞状を授与、第2・3位チームには同じく府民総体の賞状が授与されました。全体的にみて、歴史ある30回を迎えた府民総合体育大会が、初めて障害者スポーツを取り入れられたこと、紆余曲折はあったものの、京都卓球バレー協会にとつて貴重な体験が得られたこと、障害のある人々が、みなで本大会を成功させようと盛り上げてくださったこと、各諸団体にご協力いただいたこと、更にボランティアの皆様が朝早くからご協力した。ありがとうございます。

行事予定	12月	11(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園
		16(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園プール
		18(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽
		8(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園
		13(日)	420回障害者スポーツのつどい	京都府立体育館
		20(日)	障害者水泳のつどい ゆうあいボウリング大会	伏見港公園プール 北部地域
		27(日)	城陽障害者スポーツのつどい 第5回京都障害者チャンピオン卓球大会	サン・アビリティーズ城陽 京都市障害者スポーツセンター
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010				
<a href="http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/">http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/</a> (9月16日に一部更新)				

来月の  
つどいは  
1 / 10  
第2日曜日

### 府民総体 卓球バレー競技に出場して

与謝野町チーム

江原 義典

今年度から府民総体の種目となった卓球バレー競技に出場しましたので、その感想を綴ってみたく思います。

第30回の節目を迎えた府民総体がおもむきを新たにスタートし、種目別交流種目として「卓球バレー競技」が行われました。かねてより府民総体に卓球バレーが実施されると聞き及んでいましたので、町当局には「是非チームを編成し『与謝野町チーム』で出場したい」と、その旨伝えておりました。要項が教育委員会より届けられましたので、そこがらが大変でした。

「メンバーは？」、「練習は？」等々問題は山積しており申込期日は迫るばかり。

私たちの願いとして、これをきっかけに「与謝野町卓球バレー大会」につなげていきたいという思いもありました。その為にも全町的な視野で取組もうと、町障害者団体の卓球バレー経験者を軸に共同作業

所の仲間たちや、役場・社協の職員さんでチームを編成し、とりあえず申し込みをしました。

練習も大会までに3回の猛練習(?)を行いました。(全都障害者大会の時の練習は1回あるのかなか)

そして一生懸命に取り組んだご褒美に選手宣誓という栄えある大役を頂きました。

大会では右京区チームに接戦のすえ悲願の初勝利を飾りました。南区チームには完敗でしたが、楽しくそして有意義な一日でした。

今三月の開催に向け、「第1回与謝野町卓球バレー大会」の開催に向け計画を進めています。(出来ればいいなあ)

最後になりましたが、「京都卓球バレー協会」並びに「京都障害者スポーツ振興会」の皆様方に感謝申し上げますとともに、障害者スポーツとして生まれた「卓球バレー」が生涯スポーツとしての「卓球バレー」として益々発展していくことを願います。

### 私と卓球バレーとの出会い

宇治市肢体障害者協会

羽野 力

私が卓球バレーを始めたのは、平成13年(満60歳)に脳出血で倒れて、4ヶ月の入院リハビリを行いました。左半身に麻痺が残りましたが、なにかよいリハビリはないのかと思っていた時、宇治市社会福祉協議会で週一回の軽スポーツとして卓球バレー教室がありました。そこに通うことにしました。それが私と卓球バレーとの出会いでした。

初めは機能訓練とリハビリのためと思っていたのですが、だんだんルールや色々なテクニクが分かり面白くなり、勝負にこだわりが出て、益々熱中してきました。その当時宇治市肢体障害者協会の中に、「かわせみ」と「やまぶき」というチームがあり早速入会しました。以前は全都の大会で優勝したことあったと古い会員さんが自慢しておられました。現在は全体的にレベルが上がって、参加チームも多く大会で勝ち残るのが難しくなりました。

現在私たちのチームの平均年齢は72歳5ヶ月と大変高齢化していますが、皆さん障害をもつて、それを乗り越えてこられた強者達でガツチリとチームワークを固めて毎回の練習を楽しく行っています。京都卓球バレー協会審判員の久保さん、定池さんを講師に競技規則やマナーなどの指導を頂き、チームのレベルアップ・強化となり感謝しております。

本年は京都卓球バレー協会が設立され、第30回府民総体で卓球バレーが行なわれしました。この大会に出場し良い成績を収め喜んでいきます。

しかし府民総体に出場しなかつた京都南部には強豪チームが多くひしめいていきます。私たちの夢は京都南部を制し、京都代表となり、全国大会の出場することです。全国の舞台で卓球バレーが出来るように、精進を重ねて頑張っていきたいと思っております。

我が人生にとって障害を持つた60歳を境に、障害者スポーツと出会い団体にも出場させて頂き、生きていく希望と勇気をいただきました。

### 京都府民総体

卓球バレー結果

- 優勝 宇治やまぶき
- 準優勝 南丹市
- 三位 中京B

### 全京都

- 車いすハンドボール大会 十一月二十五日
- 京都市障害者スポーツセンター 参加・10チーム

- 一部
- 一位 ドリーマーズ(宮津市)
- 二位 福知山GMW(福知山市)

- 二位
- 一位 東ALLSTARS(京都市)
- 二位 笑福亭一門(京都市)
- 三位 西総合芝部(京都市)

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位

- 二位
- 一位